

資産運用レポート：投資手法の改善

1. はじめに

株は、マーケットを介した、売り手と買い手の戦いです。将棋でも、テニスでも、何でもそうですが、人間同士の対戦において、必勝法は存在しません。

将棋なら四間飛車、テニスならサーブ&ボレイといった攻め方はありますが、勝てるかどうかは本人しだいです。

そんな中で、稼げるようになるためには、試行錯誤を重ねつつ、自分の性格に合った投資手法を構築していくしかないといえます。

ところで、皆さんは、どのような形で株式投資に取り組んでいるのでしょうか。おそらく、最悪に近いのは、次のようなケースです。

- セミナーを受けたり、株本を読んだりして、投資手法の勉強をする
- 実際に試してみるものの、そう簡単に儲からない
- 「あの手法はダメだ」と見切りをつけて、別のやり方を探す
- このプロセスを延々と繰り返す

どこがダメかといえば、損をした原因が自分にあるにもかかわらず、責任を他人に転嫁しているからです。結局、根本的な問題解決に至らず、堂々巡りになります。

また、個人投資家の中には、株式市場や個別銘柄の研究に熱心であっても、売買履歴をつけていない方がいらっしゃいます。例えてみれば、帳簿のない会社みたいなもので、そんなどんぶり勘定では儲かるはずもありません。

過去の売買を振り返ることにより、自分がどのような状況で損をしているのかという「負けパターン」が明確になります。一方で、儲けた銘柄に関しても「もう少し、利益を増やせる余地があったかどうか」分かるはずです。

ここまで自己分析できれば、今後「負けパターン」に陥らないことで損失を抑え、なるべく利益を伸ばすことで、もっと儲かるようになれます。

投資手法はころころ変えるものではなく、改善しながら使い続けるものです。今回の資産運用レポートでは、投資手法の改善について取り上げます。